

## 事業の背景・目的

キリシマイワヘゴは宮崎県と徳島県に数個体の生育が確認されているのみで、極めて絶滅のおそれが高い状況にある。本事業は、国内希少種キリシマイワヘゴを自生地での生育環境の改善と孢子からの人工増殖方法の確立及び自生地への補植方法を検討し、種の保存と生育地での個体の維持を図ることを目的とする。今年度は徳島県の自生地で生育環境測定、自動撮影カメラによる撮影、自生地周辺に防鹿柵の設置、人工増殖方法の検討を行った。



## 事業の内容

### 事業① 現地調査

- ・ **生育環境調査**：自生地の気温・湿度・地中水分量・光量を測定した。
- ・ **ニホンジカ生息調査**：自動撮影カメラを設置し、自生地へ来る動物を確認した。
- ・ **フェノロジー調査**：新葉の展開、孢子嚢の形成・完熟期、冬季の株の状態などを観察した。

### 事業② 孢子採取

- ・ 孢子採取の適期確認
- ・ 汚染の少ない孢子の採取方法の検討



### 事業③ 防鹿柵拡幅

- ・ 生育地周辺に人工増殖苗（F1）を補植する場所の設置



### 事業④ 人工増殖方法の検討

- ・ 孢子の無菌播種条件の検討
- ・ 近縁種でクローン増殖方法の検討



## 得られた成果

### 事業① 現地調査

- ・ 生育地は真夏の日中30°Cを超えても夜間には20°C以下に下がることがわかった。
- ・ 生育地は一年中、日中湿度が下がっても夜間には100%近くなることがわかった。
- ・ 生育地にはニホンジカの他にもさまざまな動物が水場として利用していることがわかった。
- ・ 新葉は4月初旬に動き出して、5月中旬に展開し終わる。さらに、8月中旬以降に1~2枚程度新葉が展開することがあった。

### 事業③ 防鹿柵拡幅

- ・ 生育地周辺に3か所、周囲が70、30、50mの防鹿柵を設置した。

### 事業② 孢子採取・④ 人工増殖方法の検討

- ・ 孢子は6月初~中旬が適期。8月中旬以降に展開する新葉にも孢子が付いていることがわかった。
- ・ 無菌播種の方法は孢子の殺菌からリンスの行程を遠心分離を行うことで解決できた。
- ・ 根茎を付けた葉柄株を茎挿しする方法で、クローン個体が得られることがわかった。